

## 近年の主な動き



矢作川・豊川CNプロジェクト

# 矢作川・豊川CNプロジェクトに関連する動き

2022

2022年12月 あいち地球温暖化防止戦略2030を改定

A-IDEAの運用開始

2023

2023年 3月 汚水処理の広域化・共同化計画を公表  
(全県域汚水適正処理構想第Ⅱ編)

愛知県水道広域化推進プランを公表

5月 豊橋浄水場の再整備事業に着手することを発表

8月 あいちエコスタンダードを改定

9月 当プロジェクトの対象地域を三河地域全域に拡大

12月 水素社会実装推進室を設置  
A-IDEAのリニューアル

2024

2024年 1月 矢作川流域(西三河地域)で上下水道の一本化に向けて取り組むことを発表

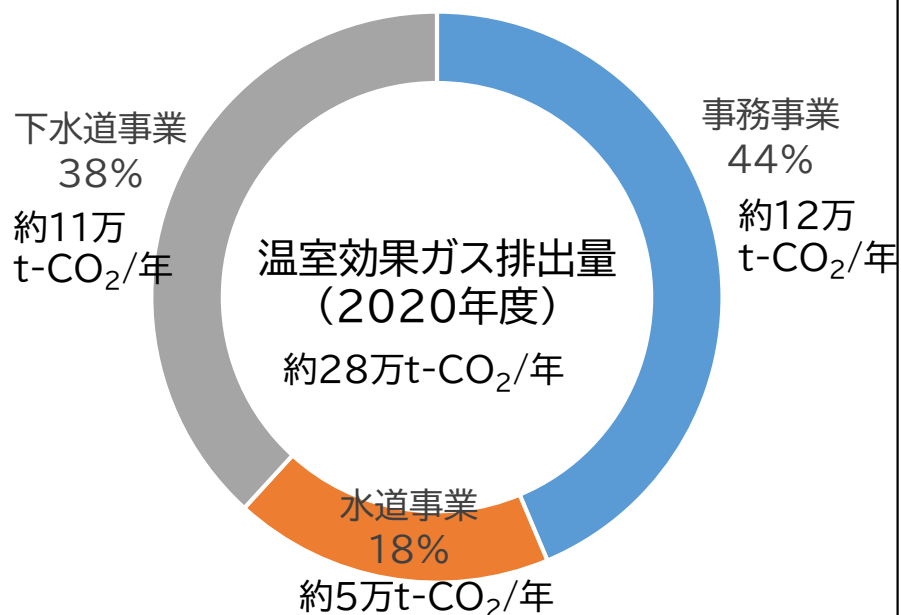
豊橋浄水場再整備等事業に関する「基本的な考え方」を公表(民間の意見を募集)

3月 水インフラをフィールドとした民間の技術開発の支援に向けたサウンディングに着手

あいちエコスタンダード： 愛知県庁の環境保全のための行動計画  
愛知県地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

愛知県が行う事業で直接排出する温室効果ガスの約6割を水処理事業が占める。

この計画で定めた削減目標の実現に向け、当プロジェクトを更に加速。



| 削減目標           | 2030年度目標<br>(2013年度比) |
|----------------|-----------------------|
| 事務事業(水道、下水道以外) | ▲69.2%                |
| 水道事業           | ▲69.2%                |
| 下水道事業          | ▲53.8%                |

※排出量・削減目標には、電力、燃料由来のCO<sub>2</sub>排出・削減に加え、下水道汚泥焼却時の一酸化二窒素の排出・削減などを含む。

※水道事業、下水道事業は単位水量あたりの削減目標。

# 西三河地域における県と市町等の上下水道の一本化

- 持続可能な上下水道サービスを提供していくため、上下水道が広域で連携し、料金上昇の抑制、カーボンニュートラルの実現、DXの推進に取り組む。
- このため、矢作川流域を中心とした西三河地域において、全国初となる県と市町等の上下水道の一本化による連携を進める。
- 2024年度は、「矢作川流域 上下水道広域連携協議会（仮称）準備会」を開催し、協議会設立に向けた基本方針（案）をとりまとめていく。

## 【新技術・新システム】4-1. 上下水道の連携



矢作川流域 上下水道広域連携協議会（仮称）準備会 対象市町

水道事業 西三河地域

矢作川流域下水道

### 「矢作川流域 上下水道広域連携協議会（仮称）準備会」

#### ○ 対象組織（仮）

愛知県：建設局、企業庁

市町等：岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町、愛知中部水道企業団

#### ○ 対象事業

愛知県：矢作川流域下水道事業、水道用水供給事業の内 西三河地域

市町等：公共下水道事業、水道事業

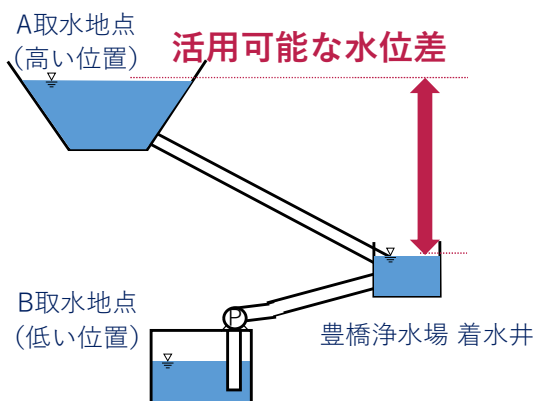
### スケジュール（想定）

|            | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度以降 |
|------------|--------|--------|----------|
| 上下水道連携の検討  |        |        |          |
| 準備会        |        |        |          |
| 協議会        |        |        |          |
| 一本化組織による運営 |        |        |          |

# 次世代型の浄水場構築による省エネルギーの推進 (豊橋浄水場)

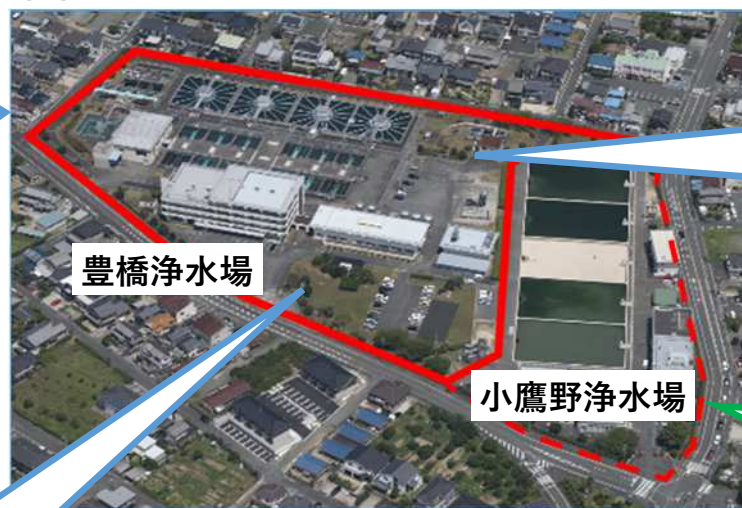
- 老朽化した豊橋浄水場の再整備に当たり、PFIの導入により官民連携を推進し、カーボンニュートラルに最大限配慮した次世代型の浄水場構築を目指す。
- 施設の更新に合わせ、太陽光発電設備や省エネ機器等の導入、位置エネルギーの有効活用等の創エネ、省エネに加えて、水素技術を活用した脱炭素化の導入を図る
- 2023年度は、PFI事業者の選定手続きを進めるため、「基本的な考え方」を公表し、実施方針に関する条例を制定。2024年度は、特定事業の選定、事業者の公募を進めていく。

## 位置エネルギーの活用



## 取組イメージ

## 【省エネ】2-1. 水道施設の再編及び污水处理の統廃合



## 太陽光発電設備・ 省エネ機器の導入



## 豊橋市小鷹野浄水場との連携

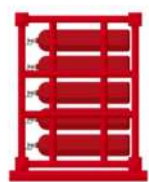
管理棟の共同整備などにより、業務の連携を推進

## 水素技術の活用

(イメージ)



液化水素タンク



水素カード



## スケジュール (想定)

|               | 2023年度          | 2024年度               | 2025年度以降                       |
|---------------|-----------------|----------------------|--------------------------------|
| 公募準備<br>公募手続き | ○<br>計画概要<br>公表 | ○<br>「基本的な考え方」<br>公表 | ■<br>実施方針公表、特定事業選定、<br>事業者選定 等 |
| 再整備工事         |                 |                      | ■<br>4                         |



# 水インフラの空間をフィールドとして 民間のCN技術開発を支援

- 水インフラ（河川管理施設、上工下水道施設、農業水利施設、砂防施設）の空間を実証実験のフィールドとして提供し、民間のCN関連技術開発の支援を検討。
- まずは、ニーズの把握のため、サウンディングを実施（2024年3月サウンディング対象者の公募開始）。
- 2024年度に実証実験の公募開始を目指す。



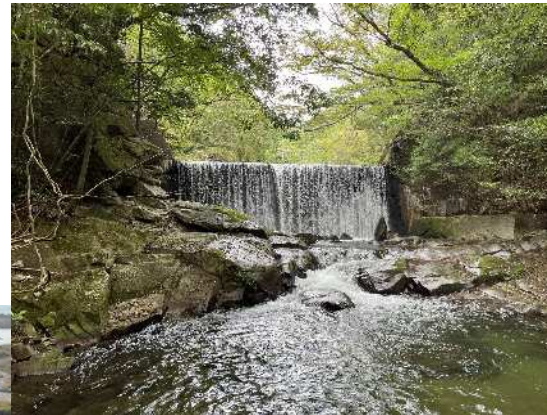
河川施設(ダム)

## 【対象技術・システム】

- ・小水力発電
- ・水熱・地中熱利用
- ・太陽光発電  
(新素材等)
- ・揚水発電
- ・水利用を一元管理  
するシステム

など

## 【新技術・新システム】4-4. 官民によるCNに向けた動きとの連携



農業水利施設(農業用水路)

※写真は一例(イメージ)



上工下水道施設(浄水場)



上工下水道施設(下水処理場)

## 砂防施設(砂防堰堤)

## スケジュール(想定)

|           | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度以降 |
|-----------|--------|--------|----------|
| サウンディング実施 |        |        |          |
| 公募条件等検討   |        |        |          |
| 実証実験の公募   |        |        | 5        |
| 実証実験の実施   |        |        |          |



# プロジェクトの発信実績

2023

2023.5 矢作川・豊川CNプロジェクト・ポータルサイトを開設



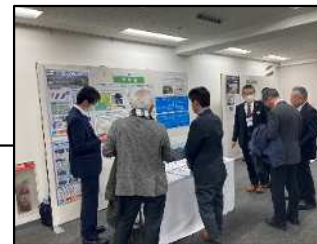
2023.9 展示用PRパネルを作成・公表

2023.10-12 各種イベントに展示用PRパネルを出展

- ・SDGs AICHI EXPO 2023(10月、Aichi Sky Expo)
- ・マンホールサミットin岡崎(10月、岡崎市民会館)
- ・What's?ため池(10月、岩ヶ池公園)
- ・ブラアイチin東浦(10、イオンモール東浦)
- ・SDGsフェスティバルin名古屋丸の内(SDGsまつり)(11月、名古屋東京海上日動ビルディング)
- ・県庁公開イベント(11月、愛知県庁)
- ・建設技術フェア(12月、ポートメッセ名古屋)
- ・あいち地球温暖化対策フォーラム(12月、愛知芸術文化センター)



2023.12 中部地域づくり講演会(吹上ホール)で紹介  
月刊誌「河川」(日本河川協会)で紹介



2024

2024.1 カーボンニュートラルアクションフェア(名古屋商工会議所)で紹介・ブース出展

2024.1 プロジェクトのロゴマークを作成・公表

2024.2 Inter Aqua 2024(東京ビッグサイト)で紹介

2024.2 低炭素型コンクリートブロック活用モデル工事のPR動画を公開(YouTube)

2024.3 PRパンフレット(概要版)を作成・公表

